

令和元年 7 月 9 日
博多港湾・空港整備事務所

博多港 アイランドシティ地区におけるコンテナバース整備について

博多港の平成 30 年国際海上コンテナ取扱量は、過去最高の 95 万 TEU と、2 年連続で過去最高を更新しており、世界と九州をつなぐ国際物流拠点港として発展しています。

九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所では、アイランドシティ地区において、コンテナ取扱貨物の増加に対応するため、コンテナバース整備を推進しています。

岸壁本体部となる、ジャケット [延長 70 ㍎ × 幅員 15 ㍎] 1 基の据付作業を実施します。

この度、下記のとおり、現地取材をお受けしますので、お知らせ致します。

1. 取材日時等

日 時：令和元年 7 月 14 日(日) 10:00～12:00

場 所：博多港 アイランドシティ地区 岸壁（別紙-1 参照）

2. 取材内容

取材当日は、岸壁本体部のジャケット 1 基の据付作業を実施する予定です。

（別添資料参照）

3. 受付場所等

博多港 アイランドシティ地区コンテナゲート前（別紙-1 参照） 受付時間：9:40～10:00

4. 留意事項

(1)天候等の影響により、ジャケット据付の日程及び時間等を変更することがあります。

(2)現地取材を希望される方は、SOLAS 条約に基づく制限区域への立ち入りの事前登録が必要ですので、11日(木) 15:00までに別添取材登録書に必要事項を記入のうえ、FAXにて申請をお願いします。

なお、取材当日は本人確認のために顔写真入りの身分証明書が必要となりますので必ずご持参下さい。

また、取材の際は社名が記された腕章を着用し、ヘルメットを持参のうえ担当者の指示に従って下さい。

【お問い合わせ先】

九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所 総務課 松村(まつむら)、柴田(しばた)

電話番号:092-752-8600

FAX番号:092-726-2860

九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所 宛て(FAX 092-726-2860)

取材登録書

取材を希望される場合は、この様式に必要事項を記入のうえ、上記連絡先までFAXでお申し込み下さい。
なお、FAX送信に際しましては、手違いを防止するため、プレスリリース記載の連絡先まで連絡をお願いします。

※ 申込みの締切りは、7月11日(木)15:00です。

■会社名及び部署名	
■現地取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記載)	
①(代表者) _____	(来場車両ナンバー) _____
② _____	(来場車両ナンバー) _____
③ _____	(来場車両ナンバー) _____
④ _____	(来場車両ナンバー) _____
⑤ _____	(来場車両ナンバー) _____
■連絡先(連絡先は、最低2名以上の記載:携帯電話可)	
①(代表者) _____	
② _____	
③ _____	
■テレビカメラ持ち込みの有無(該当するものに○囲み)	
有 ・ 無	
■その他	



博多港全体



「アイランドシティ地区」拡大写真



【別添資料】「ジャケット据付 現場取材」の概要

- ジャケットは、北九州市若松にある工場にて製作しているため、北九州港～博多港までは輸送台船に搭載し、約12h（57海里）かけて海上を輸送してきます。到着後は、据付のための準備（吊上艀装）を行い、準備後は順次、大型のクレーン船を使用し、吊卸方式によりジャケットの据付作業を行っていきます。
- 現場取材は、輸送台船上からのジャケットの吊り揚げ～据付（定着）までの一連の作業を見学することができます。

■ 作業工程イメージ



ジャケット製作(工場)



ジャケット運搬(海上)



ジャケット据付(海上)

<ジャケット据付スケジュール>

- 7月12日（金）ジャケット運搬開始（北九州港 [若松]）
- 7月13日（土）ジャケット到着（博多港）
- 7月14日（日）ジャケット据付 1基 AM



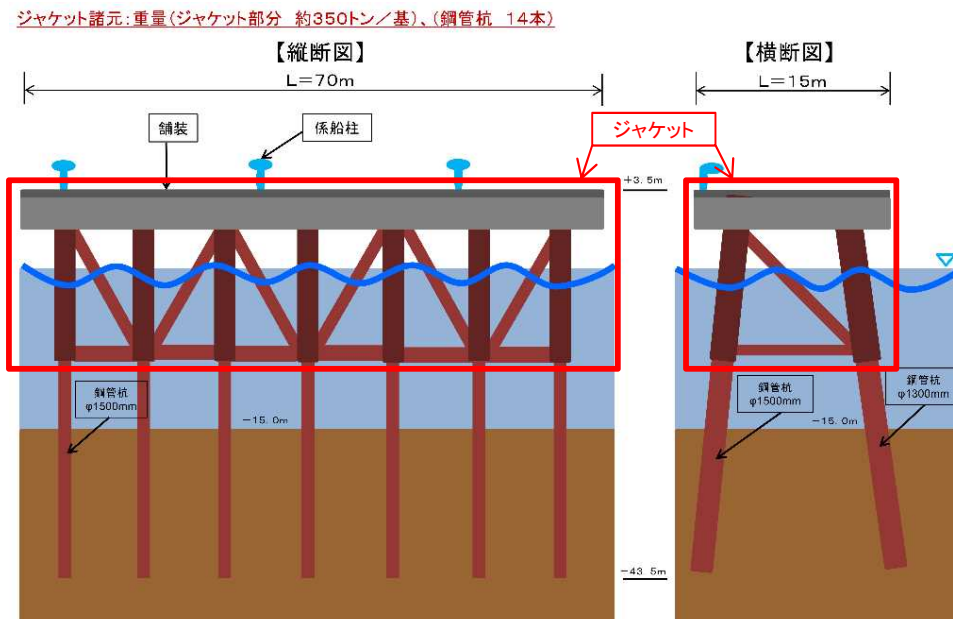
ジャケット据付位置

【別添資料】 「ジャケット工法」とは・・・

■ジャケットの特徴

- ジャケットとは、鋼管で組み立てた立体トラス構造の構造物です。杭に被せる格好となることから、上に羽織るという意味で「ジャケット」と呼ばれます。
- ジャケットは、栈橋・岸壁の新設、増深、耐震及び老朽した既設構造物などの更新にも用いられる工法です。工場製作したジャケットを現地で一体架設するため、現地施工の期間を短縮できるなどのメリットがあります。
- ジャケット工法とは、工場製作したジャケットと鋼管杭をグラウトにて一体化させる工法です。

◆ジャケット構造図



◆ジャケット外観

